

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	有田市立田鶴小学校	木村 正徳
学校所在地		
〒 649 - 0316 和歌山県有田市宮崎町2131 Tel 0737(82)3169 fax 0737(82)2180 e-mail tazu@lime.ocn.ne.jp		
担当者名		役職名・担当教科
上田 敏樹		教諭・6年担任
<p>〔学校の概要〕</p> <p>本校は、有田川の河口に位置し、長年沿岸漁業を中心として発展してきた地域である。近年は漁業資源の減少と輸入の自由化等、漁業環境の変化もあり、漁業従事者が減少傾向にあるが、太刀魚の水揚げ漁は全国一である。</p> <p>近年は、少子化や転居等で児童数は減少傾向にある。本校児童は、温かい地域性に見守られ、子どもらしい明朗さと快活さを併せ持ち、地域や学校での奉仕作業にも労を惜しまず活動する。また、保護者においても学校行事等積極的に参加し、協力的である。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 6 年生 27 名	1名 職員 3 名	本校・世界遺産熊野本宮館
実践研究テーマ		
伝統文化とそれを受け継ぐ人々に触れることで郷土愛を育み、守っていこうとする態度の育成		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	「地域の歴史を調べよう」	
<p>〔キーワード〕</p> <p>地域学習 世界遺産学習 人々の思い</p>		
<p>〔単元目標〕</p> <p>(1) 地域の有形、無形の文化財や伝統に関心を持ち、進んで調べることができる。</p> <p>(2) 歴史と文化、伝統について、体験を通してより身近に感じ、大切にしていこうという心情を深める。</p> <p>(3) 調べた事を伝え合う活動を通して、地域への所属感と受け継いでいこうとする意識を高め、これからの自己の生き方について考えようとする。</p>		
<p>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</p> <p>全体 20 時間 （「世界遺産について学ぼう」 10 時間 ）</p>		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> <p>(1) 和歌山県世界遺産センター・・・世界遺産入門 現地学習</p> <p>(2) 立神社総代 田中利益氏・・・講話「立神社と地域のつながり」「祭りとは」</p>		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1 2 3 4	「地域の歴史を調べよう①」 1. 地域に伝わる物について考えよう。 2. 地域の飛龍神社と立神社の秋の例祭について調べよう。 3. 秋の例祭の様子と人々の関わりについて振り返る。	・地域に伝わる有形、無形の文化財に目を向け、それを受け継ぎ守っていこうとする人々に目を向け、関心を高めさせたい。 ・国語科「平和のとりでを築く」、「鳥獣戯画を読む」を関連資料として扱う。 (時間外：祭りに参加<子ども神輿>)	発言 観察 ワークシート
5 6	「世界遺産について学ぼう①」 3. 世界遺産について知ろう。 4. 世界遺産（熊野本宮大社・熊野古道）について学ぼう。	・世界遺産についての簡単な情報を提供し、事前学習を行う。（現地学習の下地を作る） ・提示資料をもとに、熊野本宮大社と熊野古道について知る。	発言 態度 ワークシート
7 8 9 10	「世界遺産について学ぼう②」 5. 世界遺産を感じよう。 (熊野本宮大社、熊野古道を訪れよう)	・熊野本宮館で学び、熊野古道を歩き、熊野本宮大社への参拝を通して、世界遺産とそれを受け継ぎ守っていこうとする人々との触れ合いを通して、その心を学ぶ。	行動観察 発言 感想（帰校後）
11 12	「世界遺産について学ぼう③」 6. 世界遺産で学んできたことをまとめよう。	・世界遺産とそれを受け継ぎ守っていこうとする人々について、分かったこと、感じたこと、考えたことをまとめて、交流する。	態度 ワークシート
13	「地域の歴史を調べよう②」 7. 課題を設定しよう。	・地域の有形、無形の文化財が受け継がれている状況を振り返り、自分なりの考えをまとめ、交流する。	発言 観察 ワークシート
14 15	「地域の歴史を調べよう③」 8. 聞き取り調査をしよう。	・外部講師に地域在住の神社総代の方を招き、お話を聞く。（講義、質疑応答）	発言 観察 ワークシート
16	「地域の歴史を調べよう④」 9. 調べたことをまとめよう。	・事前調査と聞き取り調査から得た内容をまとめる。（調べたこと、感じたこと、考えたことをまとめる。）	発言 観察 ワークシート
17	「地域の歴史を調べよう⑤」 10. 伝え合い、考えを交流しよう。	・文化財とそれを受け継ぎ守っている人々の思いについて考えたことを伝え合う。	発言 観察 感想
18	「地域の伝統を受け継ごう」 11. 学習のまとめをしよう。	・地域に生きてきた人々とその思い、受け継ぎ守っていこうとする人々の思い、それが伝統を作っていくということを考えさせたい。	観察 まとめの感想

〔单元学習の成果と課題〕

(成果) 子ども達の生活様式の変化、また地域への関心が薄れていっている今日、地域とそこに住む人々の思いに触れる機会も減少している。そのため、現地に赴き、人々とのふれあいを通して学ぶ機会はより重要視されている。今回の学習は、地域とのつながり、人とのつながりを感じ、その中に生きる自分を見つめ、行動していこうとする事のスタートとなるよい機会となった。次世代育成事業への参加は、児童への関心を高めるだけでなく、世界遺産マスターや職員の方からの専門性の高い知識や情報の教授だけでなく、そこに関わる人々の思いを感じ取る場としても大変効果的であった。

(課題) 今回の学習は、教師の側で学習過程を限定して行っている。人々の思いに焦点をあて、学びを進めていきたかったからである。そのため、多様性という点で課題を有する。地域学習、世界遺産、地域学習の二度目の地域学習は、多様な地域の遺産と人々のつながりをとらえ、それを共有する場として設定する必要がある。また、世界遺産の学習は、有田市に残る熊野古道とそれにまつわる伝承を結び付けるなど、地域との関連に広げていく方法も考えられる。今回の実践の成果と課題をもとに、今後、单元構想については、さらに検討していきたい。

〔世界遺産学習の効果〕

地域の学習のスタートを切ったあと、世界遺産について学ぶことの意味は大きい。さらに、地域の祭りへの参加、世界遺産入門の学習の後の熊野古道という具合に体験がセットになっていること児童の感性を高める上で大変効果的であった。また、外部講師として招いた神社総代、世界遺産マスターの方々など、それを受け継ぎ守っていこうとする人との触れあいは、児童の心に直接響くものであった。世界遺産センターでの学びは、児童にとって学習モデルを学ぶ場でもある。この学習を通して得たことをもとに、その後の地域学習を行えたことは、大変有効であった。以上のように、多岐にわたる効果が多くみられた。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

地域学習、世界遺産、地域学習という单元構成のもと実践を行ったため、県全体と地域をリンクする形で学習が行えたことはよかったと思う。ただ、世界遺産の学習が他の遺産に広がったり、熊野古道の学習を深めたりするものにならなかったのが反省点である。单元を構想するにあたり、「人々の思い」をテーマに行っており、双方の関連は図られているが、それぞれに課題も有した。今後は、单元構成を見直し、重点をより明確化したうえで、学習を展開していく必要がある。

様式 2

平成28年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

(世界遺産について学習して)



- 世界遺産には、文化遺産、自然遺産、複合遺産があることを知りました。認定にはいろいろなことをしなければならないこと、認定後は、その状態を保たなければならないことも分かりました。世界遺産は、人間にとって大切なものなので、次の世代に受け継がなければならないと思います。
- 世界遺産というものは、世界にとっての宝だということが分かりました。僕にも宝物があります。だから、世界の宝は、とても大切なものだと思います。
- 熊野古道は、未来に残さなければならないものだと考えました。世界遺産に選ばれるというのは、とてもすごいことであり、和歌山県の自慢です。今日は、たくさん学べてよかったです。
- 遺産には、その場所を愛する人がいて、その場所を保護し、未来に伝えていこうとしている人がいることを知りました。
- 昔から今まできれいに残って受け継がれているということは、それだけ、昔の人や今の人の世界遺産への思い入れが強いのだと思いました。
- 世界遺産はすごいものだと、改めて実感しました。人々が協力しながら守り、登録時の形を保存していこうとしているからです。世界遺産は、世界の宝なので、私にもできる活動をして守っていきたいです。
- 昔から今まで、人々が世界遺産を守る活動をしていることを知って、私も熊野古道をいつまでも残していけるような活動に参加してみたいと思いました。

(熊野古道を歩いて)



- 実際に熊野古道を歩いて感じたのは、世界遺産を守ろうとする活動のすばらしさでした。山道を歩くのは、しんどくてつらかったけれど、その中で見た、木々や文化の足跡はすごかったです。
- 歩いていて、とても自然を感じました。世界遺産マスターの方が、丁寧に教えてくれたので、考えながら歩くことができました。とてもきれいな景色も見ることができてよかったです。
- 熊野古道を歩いて、昔の人はあの長い距離を歩いていたんだと、すごいと思いました。そして、この熊野古道を歩いていた人の中には、けが人や病気の人が多く、そんな人を助けてあげる優しい人もいたと聞きました。
- 見た目からは、「世界遺産」という感じはしなかったけれど、世界遺産マスターの方の話を聞いていると、実感がわかってきました。熊野に来たら極楽にいけるかもしれないと思って、何百キロメートルも歩いたり、信仰のために来たりしたと聞いたからです。
- 実際に熊野古道を歩いてみると、木が生い茂ったというよりも、まっすぐなきれいに間ばつされた木がずらりと並んでいました。これは人工林で、この木も文化遺産の一部なのだと聞きました。また、その歩いていた道も、昔から今まで、人が土や石をもってきて整備したそうです。熊野古道には、今も昔もたくさんの方が関わっていたということが分かりました。
- でこぼこして歩いて歩くのは、疲れました。でも、私たちが石や砂をもってこないと、あんなにきれいな道はできないと言っていました。熊野古道がなくならないためには、私たち人間が協力しないといけないことがよく分かりました。何年後かにまた来て、私も協力したいと思います。
- 山の中だからもっと歩きにくいと思っていたけれど、石の段があったり、土で固められていたりして歩きやすかったです。熊野古道を大切に守っているのが、よく伝わってきました。少し坂道がしんどかったのですが、昔の人が歩いて通っていたのは、すごいなと思いました。

(感想)



○この学習で、世界遺産についてくわしく分かったし、実際、世界遺産である熊野古道を歩いて本当に良い経験になったし、とても楽しかったです。

○昔の人々がぼくたちのために守ってきたものを、次は、ぼくたちが守り続け、ずっと世界遺産として残していきたいと思います。

○日本の世界遺産を大切にしていける人々の思いがあって、今も世界遺産が続いているのだと思いました。

○次世代育成事業に参加して、ぼくは、人助けをしていきたいと考えるようになりました。それは、熊野古道を歩いた人たちは、助け合って熊野を目指したと聞いたからです。

○世界遺産は、今日まで様々な人が受け継ぎ、守ってきたものであるため、これからも世界遺産を大切にしたいです。

○大人になったら、熊野古道をすべて歩いてみたいです。

○熊野古道に行って、世界遺産マスターの方たちから話を聞いて、実際に世界遺産熊野古道への思いを感じることができました。

○今まで、世界遺産について興味がありませんでした。でも、この学習をして、世界遺産の大切さやほこらしさがとてもよく分かりました。

○世界遺産の中には、私たち人間が手をかさないといけないものがある。遺産が遺産でなくなる前に、私たちが協力できるものはないのかと考えました。

○この学習を受けて、和歌山の大切な遺産を残していきたいと思いました。

○熊野古道は、昔から受け継がれている、昔も今も変わらない日本の宝物なんだなと思いました。

○自分たちの身近なところにすごい世界遺産があったので、「これからも守っていけるように努力したいな。」と思いました。

○日本の世界遺産たくさん知れてよかったし、熊野古道を歩いてよかったです。また行くときは、もっと理解していきたいです。

○次世代育成事業に参加して、世界遺産のことや熊野古道のことがよく分かりました。もっとたくさんの方が世界遺産について知って、世界遺産を守っていけるといいなと思いました。